

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 尚進	代表者	関口 忠男	法人・事業所の特徴	いつも明るく笑い声が聞こえるアットホームな雰囲気の実業所です。医療機関と連携し、体調の変化に対応し、終末期・ターミナル期・看取りの対応をさせて頂いています。利用者様の夢を叶える「夢プロジェクト」や、毎年ご家族を招いての「ふきのとう祭り」などでは、皆さんが笑顔で喜んでいただいています。
事業所名	小規模多機能ホーム ふきのとう	管理者	関口 由美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	0人	2人	1人	0人	3人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	計画的に余裕をもって取り組み、1か月前には必要書類を送付する。	今回は10月に職員・運営推進会議の皆さまへ書類の準備ができた。前回よりも慌てずにできた。	職員の意識改革が感じられ、積極的に取り組んでいることが感じられた。	改善計画への取り組みの経過をわかりやすく報告する。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所の環境について詳しい説明や見学の機会を設ける。	8月の運営推進会議終了後見学会を実施した。	地域の皆さんの見学会などあってもいいかもしれない。外に看板など設置して入りやすい雰囲気を試してみたいは？	来年は10周年なので、地域の方をお呼びする機会を企画し見学していただく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の現状を知り、より多くの場所・人に認知症カフェの取り組みを知ってもらう。	認知症カフェの報告会や清田区のシンポジウムへの出席や、地域ケア会議に出席し交流の時間を持った。	認知症カフェに参加しやすいように、予防目的や勉強したい人への絞ってアプローチしてみたいは？	認知症カフェの目的をわかりやすく紹介する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の行事、イベントに参加し、その報告をわかりやすく伝える。事業所内にとどまらず、外部にどのような取り組みをしているか発信する。	清田区住みよい安心安全なまちづくり協議会の花壇整備やゴミ拾い等のボランティア活動に参加、また有楽町内会の福祉推進会議に定期的に参加した。	地域の活動に積極的に参加できている。	清田区や町内会のゴミ拾いだけでなく、事業所独自でも実施する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事例検討をおこなう。福祉や防災の担当者会議に招く。	事例検討会への参加、その事例発表を運営推進会議の中で発表した。防災担当者の方の会議出席は実現できなかった。	町内会防災担当の方の出席は実現しなかったため、来年にまた実施したい。	運営推進会議の中で、研修で学んだことの紹介や、認知症カフェについてお伝えする機会を持つ。防災担当又は会長を会議に招く。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の方に参加してもらえよう、周知の方法を工夫する。	有楽町内会の避難訓練、清田区住みよい安心安全なまちづくり協議会主催の宿泊避難所訓練にそれぞれ参加した。	引き続き清田区・町内の訓練等や地域の会議出席等で地域の方へ、事業所の存在をまずアピールする。	町内会・清田区の訓練等へ参加する。災害時の要援助者として町内会との話し合いに参加する(福祉推進委員会)。